



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 電通

コード番号 4324 URL <http://www.dentsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石井 直

問合せ先責任者 (役職名) 広報1部部长 (氏名) 河南 周作

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-6216-8041

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,082,360	17.5	19,284	△12.8	24,049	21.6	10,134	8.4
25年3月期第2四半期	921,036	6.7	22,110	51.9	19,784	0.9	9,349	16.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 94,028百万円 (932.5%) 25年3月期第2四半期 9,106百万円 (△14.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	38.61	38.55
25年3月期第2四半期	37.52	37.36

(参考)

売上総利益.....26年3月期第2四半期 269,193百万円(65.5%) 25年3月期第2四半期 162,654百万円(8.9%)  
 のれん等償却前営業利益...26年3月期第2四半期 40,111百万円(65.5%) 25年3月期第2四半期 24,230百万円(48.9%)  
 「のれん等償却前営業利益」の定義については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご参照ください。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,293,182	816,489	34.6
25年3月期	2,205,569	608,637	26.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 793,455百万円 25年3月期 584,495百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
26年3月期	—	16.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,292,000	18.1	65,600	12.2	72,400	22.7	33,100	△8.9	120.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)

売上総利益.....26年3月期通期 5,785億円(67.2%)  
 のれん等償却前営業利益...26年3月期通期 1,078億円(71.5%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	288,410,000 株	25年3月期	278,184,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	38,569 株	25年3月期	29,035,042 株
----------	----------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	262,512,585 株	25年3月期2Q	249,151,303 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、【添付資料】5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書 .....	9
四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(6) 企業結合等関係 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は緩やかな回復基調が続いているものの、欧州における財政問題の長期化や新興国経済の成長鈍化などにより、先行き不透明な状況で推移しました。一方、日本経済は、デフレ脱却に向けた大胆な金融緩和策や経済政策を背景に、輸出企業を中心に企業業績の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

当社グループは、英国の大手広告会社Aegis Group plc（以下「イーゼス社」という。平成25年3月26日付でDentsu Aegis Network Ltd.に商号変更）を買収し、世界110カ国で事業を展開する本格的なグローバル企業として、新たな一步を踏み出しました。これに併せ、2013年度を初年度とし、新たに策定した中期経営計画「Dentsu 2017 and Beyond」では、既存の広告ビジネスの枠組みを超えた新しいマーケティング・コミュニケーションを創造し、比類ない当社グループ独自の価値を提供する次世代エージェンシー・ネットワークとなるために、全世界で顧客の事業をサポートするネットワークの構築と、デジタル時代の先頭を行く統合的なソリューションの開発・提供を推進してまいります。加えて、強みである日本市場においても収益性を高めていくことで、持続的成長の実現を目指してまいります。

第1四半期連結会計期間からイーゼス社の業績を連結損益計算書に反映しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1兆823億60百万円（前年同期比17.5%増）、売上総利益は2,691億93百万円（同65.5%増）となりました。買収（イーゼス社の買収を含む）により生じたのれん償却額134億6百万円およびその他無形固定資産償却額74億20百万円を計上していることなどから、営業利益は192億84百万円（同12.8%減）となりましたが、為替差損がなくなったことなどから、経常利益240億49百万円（同21.6%増）、四半期純利益101億34百万円（同8.4%増）となりました。

また、のれん等償却前営業利益は401億11百万円（同65.5%増）となりました。のれん等償却前営業利益は、会計上の営業利益に、買収（イーゼス社の買収を含む）により生じたのれん償却額およびその他無形固定資産償却額を足し戻したものです。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

#### a. 広告業

広告業では、売上高1兆529億1百万円（前年同期比18.1%増）、売上総利益2,583億39百万円（同70.5%増）、セグメント利益172億86百万円（同12.5%減）でありました。

#### b. 情報サービス業

情報サービス業では、売上高342億91百万円（前年同期比2.9%増）、売上総利益103億84百万円（同0.9%減）、セグメント利益7億27百万円（同28.3%減）でありました。㈱電通国際情報サービスのグループ各社が当セグメントの対象会社となります。

#### c. その他の事業

その他の事業では、売上高79億54百万円（前年同期比4.6%減）、売上総利益17億77百万円（同2.2%減）、セグメント利益4億20百万円（同9.0%減）でありました。

当第2四半期連結累計期間における所在地別業績は、次のとおりです。

a. 日本

日本では、売上総利益1,432億52百万円（前年同期比6.3%増）、のれん等償却前営業利益264億14百万円（同29.7%増）でありました。

b. 海外

海外では、売上総利益1,264億98百万円（前年同期比348.0%増）、のれん等償却前営業利益137億34百万円（同266.4%増）でありました。

なお、当連結会計年度から、売上総利益を当社グループの経営管理指標の一つとして設定したことにより、各セグメントの売上総利益を開示しております。

また、海外子会社など、決算日が12月31日の会社については、原則として当第2四半期連結累計期間には、平成25年1月1日～平成25年6月30日の6ヵ月間の実績を反映しております。

連結業績には、当社単体の業績が大きく影響しております。当第2四半期連結累計期間における当社単体の業績および業務区分別・業種別売上高の概況は、以下のとおりです。

当社単体の業績は、売上高が7,175億83百万円（前年同期比6.1%増）、売上総利益は1,006億53百万円（同7.8%増）、営業利益は183億90百万円（同30.6%増）、経常利益は297億27百万円（同101.8%増）、四半期純利益は231億37百万円（同185.3%増）となりました。

<業務区分別>

業務区分	売上高	構成比	前年同期増減率
	百万円	%	%
新聞	49,182	6.9	0.9
雑誌	16,549	2.3	△2.8
ラジオ	7,379	1.0	△5.6
テレビ	342,640	47.7	3.9
(テレビタイム)	(148,887)	(20.7)	(△2.1)
(テレビスポット)	(193,752)	(27.0)	(9.1)
インタラクティブメディア	29,408	4.1	19.3
OOHメディア	25,308	3.5	8.3
クリエイティブ	94,976	13.2	4.7
マーケティング/プロモーション	91,333	12.7	16.3
コンテンツサービス	42,145	5.9	11.5
その他	18,658	2.6	4.3
計	717,583	100.0	6.1

(注) 1 主要な業務区分の内容は、下記のとおりです。

新聞：新聞広告枠の取引業務

雑誌：雑誌広告枠の取引業務

ラジオ：ラジオ広告枠の取引業務

テレビ：テレビ広告枠の取引業務

テレビタイム：テレビタイム広告枠（番組提供による番組内）の取引業務

テレビスポット：テレビスポット広告枠（主に番組間）の取引業務

インタラクティブメディア：インターネット、モバイルに関する広告枠の取引業務

OOHメディア：アウト・オブ・ホーム・メディア（交通、屋外、折込）広告枠の取引業務

クリエイティブ：広告表現立案業務、広告制作業務および関連業務

マーケティング/プロモーション：クライアントのマーケティング、コミュニケーション、ブランド、経営等の戦略立案、コンサルティング業務、および課題解決のためのSP、イベント、PR、デジタル・プロモーション、ダイレクトマーケティング、CRM等のソリューションの企画・実施作業

コンテンツサービス：スポーツ領域、エンタテインメント領域での権利販売業務、企画立案・制作実施業務およびその他のコンテンツサービス

その他：衛星メディア、メディアプランニングなど

2 各業務区分の構成比は、小数第1位未満を四捨五入しています。

マス四媒体の売上高は、4,157億51百万円（前年同期比3.1%増）となりました。また、マス四媒体以外の売上高は3,018億31百万円（同10.6%増）となり、売上高構成比は42.1%となりました。

<業種別>

業 種	売上高	構成比	前年同期 増減率
	百万円	%	%
情報・通信	92,865	12.9	2.6
飲料・嗜好品	86,667	12.1	7.6
化粧品・トイレタリー	59,806	8.3	△3.0
金融・保険	59,213	8.3	30.9
自動車・関連品	46,751	6.5	19.2
流通・小売業	46,125	6.4	△1.3
食 品	45,048	6.3	1.2
外食・各種サービス	39,813	5.5	19.3
趣味・スポーツ用品	32,091	4.5	28.7
薬品・医療用品	31,188	4.3	△6.6
交通・レジャー	30,690	4.3	0.0
家電・AV機器	25,506	3.6	△9.8
官公庁・団体	23,856	3.3	6.6
不動産・住宅設備	21,631	3.0	5.0
ファッション・ アクセサリ	19,349	2.7	△7.1
そ の 他	56,978	7.9	7.1
計	717,583	100.0	6.1

(注) 各業種の構成比は、小数第1位未満を四捨五入しています。

当第2四半期連結累計期間において、当社単体売上高に占める割合の大きい上位15業種では、「金融・保険」（前年同期比30.9%増）、「自動車・関連品」（同19.2%増）、「趣味・スポーツ用品」（同28.7%増）など10業種で売上高が増加し、「家電・AV機器」（同9.8%減）、「薬品・医療用品」（同6.6%減）など5業種で売上高が減少しました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、当社単体を中心に国内の業績が好調であったことなどから、想定を上回る結果となりました。今後についても、引き続き国内の広告市場が堅調に推移すると見込まれることなどから、平成25年11月11日に発表しましたとおり、平成25年5月14日に公表した通期の業績見通しを上方修正し、表記のとおりとしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	208,356	174,583
受取手形及び売掛金	816,251	812,514
有価証券	116	—
たな卸資産	13,561	16,631
その他	86,124	87,493
貸倒引当金	△1,806	△1,914
流動資産合計	1,122,602	1,089,308
固定資産		
有形固定資産	250,553	250,980
無形固定資産		
のれん	576,009	506,847
顧客との関係	24,295	166,065
その他	26,936	68,427
無形固定資産合計	627,241	741,340
投資その他の資産		
投資有価証券	135,138	144,768
その他	84,644	82,691
貸倒引当金	△14,611	△15,907
投資その他の資産合計	205,171	211,552
固定資産合計	1,082,966	1,203,874
資産合計	2,205,569	2,293,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	785,377	804,794
短期借入金	21,268	45,366
未払法人税等	21,175	9,755
引当金	5,541	4,439
資産除去債務	9	—
その他	484,182	152,991
流動負債合計	1,317,554	1,017,348
固定負債		
社債	93,931	17,507
長期借入金	71,344	287,272
退職給付引当金	42,316	44,675
その他の引当金	378	236
資産除去債務	896	877
その他	70,510	108,774
固定負債合計	279,377	459,345
負債合計	1,596,931	1,476,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,967	74,609
資本剰余金	60,899	100,106
利益剰余金	515,630	522,233
自己株式	△65,077	△87
株主資本合計	570,419	696,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,609	19,142
繰延ヘッジ損益	8,173	9,234
土地再評価差額金	△5,931	△6,386
為替換算調整勘定	△1,775	74,602
その他の包括利益累計額合計	14,076	96,593
少数株主持分	24,141	23,033
純資産合計	608,637	816,489
負債純資産合計	2,205,569	2,293,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	921,036	1,082,360
売上原価	758,381	813,166
売上総利益	162,654	269,193
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	76,473	128,936
役員賞与引当金繰入額	225	264
退職給付引当金繰入額	5,829	5,399
役員退職慰労引当金繰入額	30	2
福利厚生費	10,450	22,112
減価償却費	5,094	14,049
のれん償却額	1,629	13,406
貸倒引当金繰入額	△100	64
その他	40,910	65,672
販売費及び一般管理費合計	140,543	249,908
営業利益	22,110	19,284
営業外収益		
受取利息	205	913
受取配当金	1,448	2,603
持分法による投資利益	884	1,361
その他	2,185	6,579
営業外収益合計	4,723	11,458
営業外費用		
支払利息	802	3,989
その他	6,247	2,704
営業外費用合計	7,050	6,694
経常利益	19,784	24,049
特別利益		
固定資産売却益	7	897
投資有価証券売却益	96	2,236
負ののれん発生益	—	1
その他	88	89
特別利益合計	192	3,224
特別損失		
固定資産売却損	3	39
減損損失	655	573
特別退職金	71	1,711
その他	1,519	1,001
特別損失合計	2,249	3,325
税金等調整前四半期純利益	17,727	23,948
法人税、住民税及び事業税	6,183	11,708
法人税等調整額	1,265	1,539
法人税等合計	7,448	13,247
少数株主損益調整前四半期純利益	10,278	10,700
少数株主利益	929	566
四半期純利益	9,349	10,134

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,278	10,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,105	5,193
繰延ヘッジ損益	△1,223	1,026
為替換算調整勘定	1,128	76,668
持分法適用会社に対する持分相当額	28	439
その他の包括利益合計	△1,171	83,328
四半期包括利益	9,106	94,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,237	93,106
少数株主に係る四半期包括利益	869	922

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	広告業	情報サービス業	その他の事業	計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高	891,286	33,328	8,337	932,952	△11,916	921,036
売上総利益	151,526	10,483	1,817	163,827	△1,173	162,654
セグメント利益	19,766	1,014	462	21,243	867	22,110

(注) 1 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額は、セグメント間取引の消去および未実現利益の控除によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	広告業	情報サービス業	その他の事業	計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高	1,052,901	34,291	7,954	1,095,147	△12,787	1,082,360
売上総利益	258,339	10,384	1,777	270,501	△1,308	269,193
セグメント利益	17,286	727	420	18,435	849	19,284

(注) 1 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額は、セグメント間取引の消去および未実現利益の控除によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当連結会計年度から、売上総利益を当社グループの経営管理指標の一つとして設定したことにより、第1四半期連結会計期間から、各セグメントの売上総利益を開示しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても当該変更を反映しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

広告業セグメントにおいて、前連結会計年度にAegis Group plcの株式取得に伴い暫定的に算定されたのれん519,076百万円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことから382,035百万円に変動しております。

(参考情報)

[所在地別情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	海外	計	消去又は全社	連結
売上総利益	134,731	28,234	162,966	△311	162,654
営業利益	19,960	2,036	21,996	114	22,110

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	海外	計	消去又は全社	連結
売上総利益	143,252	126,498	269,750	△557	269,193
営業利益又は営業損失(△)	26,008	△6,687	19,321	△36	19,284

(注) 売上総利益は当社グループ各社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

海外に属する主な国又は地域は、前第2四半期連結累計期間においては米国および中国、当第2四半期連結累計期間においては米国および欧州であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年7月3日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月29日を払込期日とする公募等による新株式発行および自己株式の処分ならびに平成25年8月27日を払込期日とする第三者割当による新株式発行を実施しました。

当第2四半期連結累計期間において、新株式発行により資本金が15,642百万円、資本剰余金が15,642百万円それぞれ増加しました。また自己株式の処分により資本剰余金が23,564百万円増加するとともに、自己株式が65,002百万円減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が74,609百万円、資本剰余金が100,106百万円、自己株式が87百万円となっております。

(6) 企業結合等関係

取得による企業結合

1. 取得原価の当初配分額に重要な修正がなされた場合の修正内容及び金額

前連結会計年度では、Dentsu Aegis Network Ltd. の取得原価の配分について、連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的な情報等に基づき暫定的な会計処理を行っており、取得原価の配分は確定しておりませんでした。

当第2四半期連結会計期間における取得原価の配分の見直しによるのれんの修正額は次のとおりであります。

修正科目	のれんの修正金額
のれん (修正前)	519,076百万円
顧客との関係	△130,995百万円
無形固定資産 その他	△37,670百万円
繰延税金負債	32,963百万円
その他取得原価調整額	△1,338百万円
修正金額合計	△137,041百万円
のれん (修正後)	382,035百万円

2. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん(金額) 382,035百万円 (2,949百万ポンド)

(2) 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間の定額法